

未来会議の取組について

Q: 市として、一極集中をめざしている印象を受けたか?

A: 「地域を切り捨てる」という認識とは逆の取組
地域の拠点のにぎわいを進めていくにあたり、
まずは馬車 → 地域へ広げていく
松永については、馬車周辺の課題だけでなく、
松永エリア全体の可能性を掘り起こしていく。

Q: 未来会議であった意見を見ると中心部のみ
地域への視点が抜けているように感じる。

A: しっかり地域の人々と話しながら進めていきたい。

●馬車の周辺に人が集まる中で、北口を活性化していくと
はチャンスだろうと思う。

Q: 未来会議の中で「具体的な取組」を実践できそうか。

A: オナーが直接運営していく方がよい。(賃料なし)
福山馬車周辺での取組も参考にしながら、松永ならを考えたから
今、未来会議のメンバーからの手あげはない。

Q: 北口アーケードの撤去、コンビニができる?

A: コンビニについてはわからない。
北口アーケードについて

S50~商店街組合解散して11年
今、商店街有志の方々が「撤去しなれば、
古いものは撤去し、道の区画整備
(6m)
松永建設産業課も一緒に考えていく。

Q: 福山の周辺が調整区域となっているが、
取れないか? 北口(馬車) → ← 福山周辺(馬車)

A: 調整区域は、都市計画課と話しながら
変更していくことは可能。

●: 空き店舗-商店街-全体へつなげていく
ことをしっかり意識して欲しい。

Q: 松永でできるような事例がある?

A: シンポジウム等(福山駅)と連携しながら
興味を持っている人を見つけ、つなげていく

●目指す方向性がはっきりしていないと、継続性がない。

ターゲットの明確化等データ収集しながら行う。(なぜかお金の原因)
取組をしつづけたが現実的に考えた時に明確にしていく必要がある
事業の検討

A: ビジョンになろうかと思う。今まであがった意見をもとに
絞って、方向性を言語化し、目指す姿をわかりやすく共有できるよ。
飲食の資分、できるスペースはあるが着手できていない状況が
続いているよう。

2回松永未来会議に期待すること

- 人が集まる場所が必要だと思う
- 松永-住みたくなる街-笑顔交流、明るい
→ イベント時だけでなく、日々の生活が明るくなるような街に
- インフルエンサーを呼んで意見を聞く
- 何年か、少しずつでも継続していくこと
- 進め方として、いろいろな分野意見が出ている中、
皆で考えて進めていくのではなく絞った方が
- 若い人=ないものねだりねがが新しい発想もある
未来会議で出た意見を絞るのでなく
もっと増やしていく方がよいと思う。

- 絞りすぎているような気がする。
- 取組を深めていく中で、実現性可能なものに、
馬車前の活性化の中で、ナショナルチームから
出店したい...というような声はない?
- 松永全体の活性化が、馬車前にもつながるのでは、
→ 松永全体の視点をもった議論を
調整区域の緩和も含め
- ゲタリンピックの復活についても議論して欲しい。

未来会議参加者だけでまとめられるものではない
→ 専門家の知見等を入れたうえで

高校生の反応としては、達成感あった。
未来会議へ参加してもらいたい。

住民の安全と安心も併せて考えながら進めてもらいたい。

松永エリア「未来から時間を流していく」
こうあってほしい姿から現状を考えていく

11月18日(日) 19:00~ 西部市民センター 多目的室
第2回未来会議 (官民連携の促進)

未来会議メンバーを具体的な取組ごとに
グループングして、それぞれでワークショップ
を開催しながら進めていくか。

12月16日(月) 15:00~ シンポジウム

- 清水駅: 今あるものを活かす → リノベ
何故必要なのか
- 協議会委員数名 パネルディスカッション